

中学校の理科の先生方へ



今年の高校入試はこんな問題でした！

合格者の理科の平均点は、60.2点

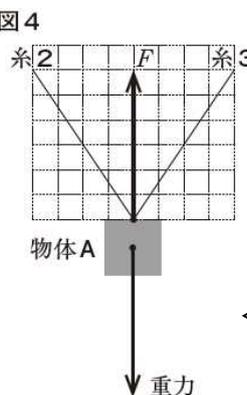
☆正答率(※)が高かったのは、基礎的・基本的な知識を問う問題です。用語の説明についても正答率が高く、定着が図られています！



特徴的な問題を見てみましょう！

4 (物理的領域)

4 図4で、 F を糸2、3の方向に分解した分力 F_2 、 F_3 の大きさは、糸2、3の間の角度を変えると変化する。分力 F_2 、 F_3 の大きさが $F_2 = F$ 、 $F_3 = F$ となるとき、糸2、3の間の角度を 0° から 180° の範囲内で求めなさい。



<標準解答>

120°

<ねらい>

この問題は、合力や分力の規則性を見いだす思考力をみる問題であり、力の合成と分解についての概念を橋の構造に適用する大問4の5につながる問題でした。

<分析>

正答率は14.4%でした。課題としては、力の分解の作図と、基本的な幾何学とを関連付けて捉えていないことなどが考えられます。

<提案>

授業では、日常生活との関わりの中にある学習課題を生徒に提示し、根拠に基づいた結論を導くような学習活動を行う工夫なども必要です。



「分かる！・できる！」まで教えよう！(授業改善のkeyword)
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！
詳しい分析は、報告書や県教育研修センターのHPをご覧ください！

(※)正答率については、合格者4,678人の中から、無作為に抽出した630人(13.5%)分のデータです。